

# 資料の構成

## 3学年21項目の学習内容

この資料は、1学年6～7時限の授業の展開を想定し、高校1～3年の3学年で21項目の学習ができるよう構成されています（表参照）。

- 事故が問題になっている自転車乗用中、二輪車運転中、四輪車同乗中といった現実的なテーマ、およびよりよい交通社会人、四輪ドライバーとなるための事前教育という2つの内容で構成されています。
- 交通事故防止に重要な「認知」や「判断」といったメンタルスキルの向上に必要な項目と、モラルアップのための内容を中心に多く取り上げています。
- 先生方のニーズに合わせ、学年に関係なく、また必要項目だけでも使っていただけます。

表 21項目の学年別構成

カテゴリー		高校1年	高校2年	高校3年
交通社会人として—— 法律の知識や社会的責任		1. 交通社会人としての自覚はできている？（交通社会人として発生する責任）	9. 違反や事故はあなたの人生設計に影響を与える（とくに加害者としての責任）	15. 四輪車の免許を持つことは、プラス、マイナスの両面がある（四輪ドライバーとしての自覚）
		2. 自転車は歩行者？ それとも車両？（自転車は車両という自覚）		16. エコロジーと車の運転
交通社会人として—— 共生の大切さ		3. 路上ではみんなパートナー（交通弱者との共存）	10. 高齢者とよいパートナーシップ（歩行者、自転車・二輪利用者としての高校生と高齢歩行者のよい関係づくり）	17. 路上でよいコミュニケーションをとれることが、よいドライバーの大事な条件（四輪ドライバーとして他者との情報の取り方、出し方の大切さなど）
事故防止のための 実践的な知識	自転車乗用中	4. 一時停止標識があるところでは自転車も停まらないといけない？（自転車の出会い頭事故防止の仕方）		
	原付運転中	5. 二輪車は、四輪車に見せる・見られる運転が大事（四輪車との事故防止の仕方）	11. 上手に運転してるのに、危険な運転といわれる。どうして？（運転プロセスの理解）	
	四輪車同乗中	6. 車に乗せてもらうのは楽しい。でも危険もある（高校生に多い四輪車同乗中の事故防止の仕方）		
	四輪車運転中			18. 運転はいろいろなものに影響される（心的要因と運転の関係）
				19. 友達を車に乗せるということは、友達の命を預かるということ（高校生に多い四輪車同乗中の事故防止を運転者の立場で）
				20. 車の速度と自己過信（四輪車の重大事故を速度との関係で）
危険予測訓練		7. この画面の中にどんな危険がありますか？（自転車乗用中）	12. この画面の中にどんな危険がありますか？（原付運転中）	21. この画面の中にどんな危険がありますか？（四輪車運転中）
事故が起きたときの対応		8. 事故にあったらどうする？ 事故を見たらどうする？	13. 事故現場であなたができること	
地域社会への貢献			14. 通学路の危険箇所マップづくり	